

# 第102回 相模湖地区まちづくり会議 全体会 結果

- 日 時 令和8年4月16日(木) 19時開会 20時10分閉会
- 場 所 相模湖総合事務所 3階 大会議室
- 出席委員数 20名出席(3名欠席)
- 傍聴者 0名

## 1 開会

## 2 代表あいさつ

## 3 各部会からの報告について

### (1) 産業・観光専門部会

吉良部会長から、「ぶらり相模湖」での情報発信(バス停の廃止等)に関する反応や、まちづくり会議としての情報発信のあり方に関する報告を行った。

### (2) 子ども・若もの専門部会

加藤理事から、3月11日(水)に実施した、子どもたちの居場所に関する勉強会の結果について報告を行った。今後は公民館やリフレッシュセンター等の活用も含め、相模湖地区に適した施設の実現に向け検討を進めていくこととなった。

\* 河津代表から、「相模湖地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」の検討状況について情報共有を行った。当該協議会として、令和11年4月を目途に、小学校は内郷小学校に、中学校は北相中学校に再編していく方向性を決定したとの報告があった。

## 4 報告事項

### 第9期相模湖地区まちづくり会議委員について

- ・ 事務局から資料1に基づき報告を行った。

## 5 協議事項

### (1) 令和8年度地域活性化事業交付金の申請に係る意見について

- ・ 事務局から資料2に基づく説明の後、協議を行った。

#### 【結果】

「里山未来デザインプロジェクト@石老山」については、事業内容をよく整理した上で、再度審査が必要とした。

#### 【主な意見等】(◇：主な意見・質問等、◆：回答等)

- ◇ マルシェはどこで開催するのか。
- ◆ まだ計画の段階であり、具体的な場所などは決まっていない。

- ◇ 東屋はどこに建てているのか。もう完成はしているのか。
- ◆ 昨年度整地や木の切り出しなどを行い、これから建てる予定である。
- ◇ ワークショップはその東屋で行うのか。
- ◆ その予定である。
- ◇ 予算案に関し、講座やワークショップの参加費で1万円とあるが、参加者の人数や参加費はどの程度を想定しているのか。
- ◆ まだ構想段階のため未定である。
- ◇ 支出の報償費が7万円と少し高いように感じる。
- ◆ 東屋の材料の製材や横曳きなどに精通した方に来ていただき、謝礼として支払う予定である。その他ワークショップやマルシェでの指導料等も想定している。
- ◇ 報償費は同じ人物に支払うのか。
- ◆ 令和7年度は5名に支払っている。
- ◇ 市は取組みの現場を確認しているのか。
- ◆ 月に一回写真を送付してもらい、確認するようにしている。
- ◇ マルシェでは何を販売するのか。
- ◆ 未定であるが、令和7年度は切り出した木材を販売した実績はある。
- ◇ 申請時点でどこで何を行うのかといった詳細はまとめるべきであり、現時点では意見を付す段階ではない。却下するものではないが、詳細を詰める必要があり、判断は第9期に持ち越さざるを得ない。
- ◆ 現時点では審査する段階ではないということを団体に伝える。事業内容の詳細が整理できた段階で、再度この場でご議論いただければと思う。

## (2) 相模湖地区の課題整理について

- ・ 事務局から資料3に基づく説明の後、4グループに分かれてグループワークを行った。

### 【結果】

各グループで発表を行い、結果については事務局で整理の上、第9期での検討課題や専門部会設置の参考とすることとした。

### 【主な発表内容】

#### ○ グループA

##### <地域に関する課題>

- ・ 公民館とリフレッシュセンターの活用方法
- ・ 高齢者の移動手段確保として循環バスの導入
- ・ 各地域の拠点としての学校再編後の跡地活用の検討
- ・ 駅前の活性化やスーパーの誘致、移動販売の導入などによる高齢者の生活支援の検討

##### <観光に関する課題>

- ・ 地域資源を活かす観光やMORIMORIとの連携
- ・ 何度も来訪してもらうために魅力ある環境づくり
- ・ 外部だけでなく地域内にも情報発信ができる組織が必要
- ・ 地域力の強化と多様な参加者との連携

- ・合言葉は「相模湖をもう一度」

## ○ グループB

- ・駅前商店街や湖畔の活性化策の検討
- ・自治会への加入促進よりも加入者が少ない状況でどう情報を発信していくか。
- ・子どもの居場所や学校跡地の活用、スクールバスの運行と高齢者の移動支援について、「学習環境のあり方検討協議会」と連携して検討を進めるべき。

## ○ グループC

- ・地域課題のつまみ食いだけでは議論が進まない。
- ・まちづくりのビジョンの設定が必要
- ・「何をもってまちづくりを成功とするのか」、定量的に評価する基準を設定し、地域課題を当てはめて検討を進める。
- ・相模原市や緑区の総合計画と地元の感覚を踏まえ、ビジョンを設定する。

## ○ グループD

- ・これまでの議論（防災に関する学習会など）をどのようにまちづくりに繋げるか。
- ・まちづくりのあり方を再考し、ビジョンを設定すべき
- ・各関係者がそのビジョンに向けて協力し合う体制を構築する。
- ・最終的には相模湖地区の人口増加につなげる必要がある。

### (3) 令和8年度地区まちづくりを考える懇談会について

- ・事務局から資料4に基づく説明を行い、(案)のとおり承認された。

### (4) 第9期相模湖地区まちづくり会議の開催日程について

- ・事務局から資料5に基づく説明を行い、(案)のとおり承認された。

## 6 その他

- ・事務局から公募委員の募集状況について説明を行った。また、委員継続を希望する公募委員の取扱いに関し、申込み後の面談を不要とすることが承認された。
- ・事務局から、市の次期総合計画策定に関する意見聴取が行われる旨の説明を行った。
- ・松本委員から、情報発信のあり方に関する検討結果の報告があり、SNS等で情報発信をする場合は「#ただ今さがみ湖」をタグ付けすることが提案された。

## 7 閉会

以上

# 第102回 相模湖地区まちづくり会議全体会 次第

日時：令和8年4月16日（木）  
午後7時～

場所：相模湖総合事務所3階大会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 各部会からの報告について

(1) 産業・観光専門部会

(2) 子ども・若もの専門部会

## 4 報告事項

・令和9期相模湖地区まちづくり会議委員について

…資料1

## 5 協議事項

(1) 令和8年度地域活性化事業交付金の申請に係る意見について

…資料2

(2) 相模湖地区の課題整理について（グループワーク）

…資料3

(3) 令和8年度地区まちづくりを考える懇談会について

…資料4

(4) 第9期相模湖地区まちづくり会議の開催日程について

…資料5

## 6 その他

## 7 閉 会

## 第9期相模湖地区まちづくり会議委員について

資料1

### 【委員を推薦する団体について】

#### 1 会則について

- 相模湖地区まちづくり会議会則第4条別表にて各分野の団体推薦委員と公募委員の選出人数の上限を定めている。

\*別表（第4条関係）「委員を推薦する団体は、その都度、役員会に諮って定めるものとする。」

#### 2 委員推薦団体の追加について

- 前回の役員会にて、相模湖芸術・文化のまちづくり実行委員会が加入することとなった。
- また、役員会の結果を受け、過去に地域活性化事業交付金を交付していた団体に声をかけることとなり、相模湖地域連絡会が加入の意思を示した。
- 前回全体会にて委員を推薦する団体として、相模原市消防団相模湖方面隊を追加してほしい、との提案があった。
- 4月9日の役員会において、「相模湖地域連絡会」と「相模原市消防団相模湖方面隊」を委員推薦団体に追加することを決定した。

### 【新団体追加後の委員構成イメージ】

| 分野等                | 選出上限 | 現在人数 | 所属団体                 | *現在の委員 |
|--------------------|------|------|----------------------|--------|
| 自治会関係              | 4    | 2    | 相模湖地区自治会連合会          | 森久保 高弘 |
|                    |      |      | 相模湖地区自治会連合会          | 岸 義之   |
| 保健・福祉<br>関係団体      | 5    | 3    | 相模湖地区民生委員児童委員協議会     | 原田 勲   |
|                    |      |      | 相模湖地区社会福祉協議会         | 岩間 肇   |
|                    |      |      | 相模湖地域包括支援センター        | 和田 理江  |
| 産業・経済<br>関係団体      | 5    | 4    | 相模湖商工会               | 山口 進司  |
|                    |      |      | 相模湖商工会 女性部           | 淵上 美紀子 |
|                    |      |      | 一般社団法人 相模湖観光協会       | 佐藤 和仁  |
|                    |      |      | 与瀬商栄会                | 岸野 和広  |
| 教育・スポーツ<br>・文化関係団体 | 10   | 6    | 相模湖地区公民館運営協議会        | 鈴木 克枝  |
|                    |      |      | 相模湖地区小学校PTA「桂北小学校」   | 加藤 千晶  |
|                    |      |      | 相模湖地区小学校PTA「千木良小学校」  | 榎本 知代  |
|                    |      |      | 相模湖地区小学校PTA「内郷小学校」   | 能村 俊貴  |
|                    |      |      | 相模湖地区小学校PTA「北相中学校」   | 山本 信宏  |
|                    |      |      | 相模湖地区小学校PTA「内郷中学校」   | 川上 はぎ乃 |
|                    |      |      | 相模湖芸術・文化のまちづくり実行委員会  |        |
| 安全・安心<br>関係団体      | 2    | 1    | 緑区安全・安心まちづくり協議会相模湖支部 | 小川 達雄  |
|                    |      |      | 相模原市消防団相模湖方面隊        |        |
| 地域活性化事業交付金交付団体     | 5    | 2    | さがみ湖コンシェルジュ          | 吉良 奈美乃 |
|                    |      |      | サンタクロスプロジェクト         | 河津 暁   |
|                    |      |      | 相模湖地域連絡会             |        |
| 公募委員               | 5    | 5    | 公募委員                 | 川村 千穂子 |
|                    |      |      | 公募委員                 | 植田 聡子  |
|                    |      |      | 公募委員                 | 小瀧 俊   |
|                    |      |      | 公募委員                 | 竹内 僚   |
|                    |      |      | 公募委員                 | 松本 瑞木  |

| 令和8年度 地域活性化事業交付金         |  | 地区             |         |
|--------------------------|--|----------------|---------|
|                          |  | 相模湖            |         |
| 事業等の名称                   | 里山未来デザインプロジェクト@石老山   | 新規・継続          | 継続2年目   |
| 団体名                      | 自然バカの会   | 会員数            | 6名      |
| 全体金額<br>(単位：円)           | 250,000  | 申請金額<br>(単位：円) | 200,000 |
| 過年度の実績と<br>事業による効果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、関口地区の里山などで自然体験等の活動を行い、多くの人の相模湖の自然と魅力に触れる機会を提供してきた。</li> <li>・人の手が入らなくなって荒れた里山の再生活動を行っている。</li> </ul>  |                |         |
| 事業実施の背景<br>や<br>地域の現状と課題 | <p>昨今、日本や世界各地で気候変動や環境破壊・汚染が深刻な問題となっているが、ここ相模湖地区でも台風19号による甚大な土砂災害、また、獣害やヤマビルによる被害の多発、森林への不法投棄の多発などの問題は明らかとなっている。森や自然に関わる人がいなくなり、現在、相模湖地区に限らず、相模原市全域の『里山』は崩壊しつつある。森が放置されたことで森の保水力が低下し、土砂災害の危険性が增大している。他にも、戦後に杉などの針葉樹が大量に植えられ、広葉樹が減少したことも影響し、シカやイノシシ、クマがエサを求めに住宅地まで下り、獣害が増大している。</p> <p>本会は、これら諸々の問題は、公共的な活動の担い手不足や参加への意欲の低下など相模湖地区のまちづくりに関わるあらゆる課題にも影響が及んでいくと考え、今回のプロジェクトを企画するに至った。</p>  |                |         |
| 要綱別表該当<br>対象事業           | 環境の保護・保全に関する事業（要綱第2条第1項別表第1－5該当）   |                |         |
| 優先的な対象事業                 | 地域の公共的な活動団体間の連携強化（要綱第2条第2項第4号該当）   |                |         |
| 事業の目的                    | <p>自然環境の再生や「里山再生」が必要と考える。そのためには、経験豊富な高齢者から緑地の管理や手仕事について学び・教わりながら共同作業で行っていき、「人と人」「人と自然」「世代と世代」を繋ぐ里山を復活させることを目的とする。この『里山再生』活動のフィールドとして、相模湖地区の地主と住民の共同財産である「石老山」を活用する。この活動を通じて以下の4つを目的とする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、里山の再生を行う。</li> <li>2、『情緒』『音楽的・身体的コミュニケーション力』を磨く。</li> <li>3、若者たちが社会へ『自信』をもって飛び出していく力を育む。</li> <li>4、自然『循環』を次世代へと繋ぐこと。</li> </ol> <p>これらの目的を達成するために「石老山」は重要で貴重なフィールドである。「若者たち一人一人が自律して道を切り開く力を育む」ことができる、そんな若者を応援する温かなまちづくりを目指して、『里山未来可能性デザインプロジェクト@石老山』を行うこととする。</p>  |                |         |
| 事業内容及び<br>事業スケジュール       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、関口地区の里山・畑等で自然体験等の活動を行い、多くの人が自然と魅力に触れる機会を提供していく。</li> </ul> <p>4月 東屋材料横引き・製材、自然農の作業、マルシェ販売<br/> 5月 東屋材料横引き・製材、自然農の作業、マルシェ販売<br/> 6月 東屋材料横引き・製材、自然農の作業、蔵の前での琴の演奏、マルシェ販売<br/> 7月 東屋材料加工、自然農の作業、マルシェ販売<br/> 8月 東屋材料加工、自然農の作業、マルシェ販売<br/> 9月 東屋建前とお披露目会、自然農の作業、マルシェ販売<br/> 10月 郷土料理のイベント、自然農の作業、マルシェ販売<br/> 11月 森づくり(除伐・間伐、植林)、間伐材の加工ワークショップ、自然農の作業<br/> マルシェ販売<br/> 12月 森づくり(除伐・間伐、植林)、間伐材の加工ワークショップ、自然農の作業<br/> マルシェ販売<br/> 1月 森づくり(除伐・間伐、植林)、間伐材の加工ワークショップ、自然農の作業<br/> マルシェ販売<br/> 2月 森づくり(除伐・間伐、植林)、間伐材の加工ワークショップ、自然農の作業<br/> マルシェ販売<br/> 3月 森づくり(木を生かす木工教室)、間伐材でものづくりワークショップ<br/> 自然農の作業、マルシェ販売</p> |                |         |

| 次年度以降の事業計画及び事業展望 |         | 次年度以降は、地元の理解を得ながら、石老山の里山づくりの活動や、畑作体験イベントを推進していく。<br>将来的には、活動を進める中で会員を増やし、会費や、会の活動で生産した農作物を利用した製品を販売する等で自立した活動を目指していく。 |               |         |  |
|------------------|---------|---|---------------|---------|--|
| 収入の部             |         |   | 支出の部          |         |  |
| 費目               | 金額      | 説明  | 費目            | 金額      | 説明                                       |
| 市交付金             | 200,000 |   | 消耗品費          | 80,000  | 石老山の森林や畑の管理道具、燃料代その他、自然体験活動の道具等          |
| 繰り越し金            | 120     |   | 食糧費           | 10,000  | イベント・祭り等の食糧費<br>講師・参加者のお茶、材料代など          |
| イベント参加費          | 5,000   | コンサートの際に参加費を徴収  | 機器賃借料、メンテナンス代 | 65,000  | チェーンソーなど機械・道具のレンタル・メンテナンス料(1回活動5000×12回) |
| 講座・ワークショップ参加費    | 10,000  | ワークショップの際に参加費を徴収  | 報償費           | 70,000  | 石老山の森林や畑の管理、自然観察会などの講師の報償費               |
| マルシェなどの販売収益      | 20,000  | 各地のマルシェで出店  | 研修に要する経費      | 2,000   | 研修会の旅費等                                  |
|                  |         |   | 保険料           | 5,200   | 一回保険料1300円×チェーンソー・イベント活動日数4回             |
|                  |         |   | 予備費           | 2,920   |  |
| 合計               | 235,120 |   | 合計            | 235,120 |  |

## 相模湖地区の課題整理について

### ○ 課題整理の進め方（グループワーク）

#### 【ねらい】

「まちづくり会議全体会で議論すべき課題」について、グループワークにより意見を出し合っています。

#### 【進め方】

- ① 各グループに分かれ、相模湖地区の課題について、20分程度意見交換を行っていただきます。
  - ② グループ内で出された課題については、付箋に書いて貼っていただきます。
  - ③ 発表者を決め、グループAから順に、グループワークの結果を5分程度で発表していただきます。
- \* 各グループの司会者・書記は以下のとおりとさせていただきます。

- 発表された課題については、事務局で整理し、今後のまちづくり会議での議題や、専門部会の設置に際しての参考とさせていただきます。

#### 【グループ分け】

|     | グループA  | グループB   | グループC  | グループD  |
|-----|--------|---------|--------|--------|
| 司会者 | 鈴木 克枝  | 川村 千穂子  | 森久保 高弘 | 吉良 奈美乃 |
|     | 植田 聡子  | 榎本 知代   | 岸 義之   | 岩間 肇   |
|     | 淵上 美紀子 | 山本 信宏   | 佐藤 和仁  | 岸野 和広  |
|     | 小川 達雄  | 川上 はぎ乃  | 小瀧 俊   | 竹内 僚   |
|     | 加藤 千晶  | 和田 理江   | 能村 俊貴  | 山口 進司  |
|     | —      | 原田 勲    | —      | 松本 瑞木  |
| 書記  | 河津代表   | 荒田総括副主幹 | 小林主査   | 佐藤主任   |

\*当日の出席者の人数に応じて、グループの構成を変更する場合があります。

以上

## まちづくりを考える懇談会 日程調整用カレンダー

- 火・木曜日の中から選択してください。
- 議会月及び1月(市長公務)はカレンダー自体用意しておりませんのでご注意ください。
- 斜線をしている日は選択できません。
- 平日は午後6時開始となります。
- 土日祝日を希望する場合、昼間の実施にご協力ください。(赤字は祝日を示しています。)

### 2月(第1希望)

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 |    |    |    |    |    |    |

- 候補日(案)
- ・2月2日(火)
  - ・2月4日(木)
  - ・2月9日(火)

### 11月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 |    |    |    |    |    |

### 10月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

## 第9期相模湖地区まちづくり会議の開催日程について

| 区分  | 開催年月  | 役員会 | 全体会 | まちづくり<br>を考える懇談会 | 備考  |   |
|-----|-------|-----|-----|------------------|---|---|
| 第8期 | 4月    | 9日  | 16日 |                  | 【令和8年度 まちづくりを考える懇談会開催日】<br>・2月で検討している。<br><br>【まちづくり会議の開催日程について】<br>・原則、役員会は第2木曜日、全体会は第3木曜日 |   |
|     | 5月    |     |     |                  |   |   |
|     | R8    | 6月  |     | 25日              |   |   |
|     |       | 7月  |     |                  |   |   |
|     |       | 8月  | 13日 | 20日              |   |   |
|     |       | 9月  |     |                  |   |   |
|     |       | 10月 | 8日  | 15日              |   |   |
|     |       | 11月 |     |                  |   |   |
|     | 第9期前期 | 12月 | 10日 | 17日              |   |   |
|     |       | 1月  |     |                  |   |   |
|     |       | 2月  | 18日 | 25日              |   | ● |
|     |       | 3月  |     |                  |   |   |
| 4月  |       | 8日  | 15日 |                  |   |   |
| 5月  |       |     |     |                  |   |   |
| R9  |       | 6月  | 10日 | 17日              |   |   |
|     |       | 7月  |     |                  |   |   |
|     |       | 8月  | 12日 | 19日              |   |   |
|     |       | 9月  |     |                  |   |   |
|     |       | 10月 | 14日 | 21日              |   |   |
|     |       | 11月 |     |                  | ●   |   |
|     | 12月   | 9日  | 16日 |                  |   |   |
|     | 第9期後期 | 1月  |     |                  |   |   |
| 2月  |       | 10日 | 17日 |                  |   |   |
| R10 |       | 3月  |     |                  |   |   |
|     |       | 4月  | 13日 | 20日              |   |   |
|     |       | 5月  |     |                  |   |   |